

第24期第7回地球惑星科学委員会及び第6回地球・惑星圏分科会合同会議議事録

日 時:2019年12月24日 10:30-13:30

場 所:日本学術会議6階6-C(1), (2), (3)会議室

出席者:木村学*, 高橋桂子, 田近英一*, 中村尚*, 春山成子, 藤井良一*, 相川祐理*, 東久美子*, 石渡 明*, 伊藤悟, 碓井照子, 奥村晃司*, 大久保修平*※, 大久保奈邦, 大路樹生, 大谷栄治*, 沖野郷子, 小口高, 蒲生俊敬, 川口慎介, 北里洋*, 久家慶子*, 近藤昭彦, 佐藤薫*, 佐々木晶*※, 三枝信子, 鈴木康弘, 杉田文, 関華奈子*, 高藪縁*, 佃榮吉, 永原裕子*, 中村卓司*, 中島映至*, 中村正人*, 西田治文, 新野宏*, 西弘嗣*, 西山忠男, 花輪公雄*, 原田尚美*, 平田直, 氷見山幸夫, 古屋正人*※, 堀利栄*, 益田晴恵*※, 村山泰啓, 森田喬, 山岡耕春*, 山岸明彦*※, 山田育穂, 山形俊男*, 藪田ひかる*, 渡邊誠一郎*※, 渡部潤一*※

欠席者:川村光*, 伊藤香織, 植松光夫, 江守正多, 沖大幹, 川幡穂高*, 小嶋智, 佐竹健治, 齋藤文紀, 篠田雅人, 新永浩子†, 寶馨, 谷口真人, 張勁, 津田敏隆*, 中田節也, 林正彦, 福田洋一*, 村山祐司, 矢野桂司, 八木谷聡, 安成哲三, 山川充夫

(敬称略)

*地球惑星科学委員会委員と地球・惑星圏分科会委員を兼任

†地球・惑星圏分科会委員

※Zoom 参加

議題

議事に先立ち、藤井委員長から、今期の旅費と手当の支払が可能であることを報告した。

1. 前回議事録案の確認

・前回の議事録案(資料24-7-1)を確認した。

2. 委員会・分科会の活動報告

○地球人間圏分科会活動報告

・春山委員長が、シンポジウムや提言案について報告を行った。提言案に対して、小・中学校での防災教育の重要性を加筆してはどうかとコメントがあった。この提言案について、委員会では大方、承認されているが、地球人間圏分科会で加筆修正を終え、IRDR分科会での回覧後の承認を受けた後、メール審議を行って承認する予定である。最終的な判断は、藤井委員長に一任することとした。

○地球・惑星圏分科会活動報告

・高藪委員が、地球・惑星圏分科会地球観測将来構想小委員会からの提言案について報告を行った。地理教育の立場からGIS関係の教育についても含めてはどうかとの意見が出された。前回

の提言のフォローアップとして、先の提言がどのように活かされているのかについて記載してはどうかというコメントがあった。

・この提言案は、小委員会の承認は取れているが、まだ分科会で未承認であるため、分科会として大筋で承認した。

○人材育成分科会活動報告

・西委員から、提言案について報告を行った。高等学校において、地理総合が必修となった、地学基礎の履修率が27%くらいに上がったという背景があり、提言をまとめた。地マスコミやインターネットを利用した教育についても記載してはどうかという意見が出され、議論が交わされた。また、「リテラシー」という言葉は上から目線に受け取られる恐れがあるとの意見があり、知識・知恵、それを活用する能力、としてはどうかというコメントなどがあった。この提言案は、翌日の人材育成分科会で承認を取る予定である。

○地球惑星科学国際連携分科会活動報告

・中村委員長が、資料に基づき、その傘下にある小委員会・分科会などの活動を報告した。

－IGU分科会について、小口委員長から資料に基づき報告があった。

－ICA小委員会について、森田委員長から資料に基づき報告があった。

－IUGG分科会について、東委員から資料に基づき報告があった。

－IUGS分科会について、西委員長から資料に基づき報告があった。

－SCOR分科会について、山形委員長から資料に基づき報告があった。

○社会貢献分科会活動報告

・高橋委員長から、資料に基づき報告を行った。翌日に分科会を開催し、これまで議論してきた内容を提言にまとめる可能性を検討しているとのことであった。

○FE・WCRP 分科会活動報告

・中村尚委員長から、資料に基づき報告があった。公開シンポジウム後に、日本学術会議会長談話として「地球温暖化」への取組に関する緊急メッセージが出された。その後、Future Earth 日本サミットが開催された。半分以上は、アカデミア以外からの参加であった。

○地理教育分科会活動報告

・碓井委員から、提言案に関する進捗状況について説明を行った。第一部で、地理教育の充実に関する提言を出すことになっており、2017 年の提言をさらに詳細にして後押しする内容である。藤井委員長から、もし連名で出す場合には、両方で審議する必要があるので、プロセスについては事務局と相談して対応したいこと、西会員から報告のあった提言との相互引用についても検討する必要があることなどにコメントがあった。

3. 「地球惑星科学分野の夢ロードマップ2020」について

・田近委員から、資料 24-7-3 に基づいて、「地球惑星科学分野の夢ロードマップ2020」の最終稿の説明を行った。地球惑星科学委員会、地球惑星科学企画分科会、地球・惑星圏分科会の共同の提言として発出することを承認した。

4. 学術の大型研究計画マスタープラン2020について

・藤井委員長が、学術の大型研究計画に関する今後のスケジュールについて報告を行った。現在、重点大型研究ヒアリング審査結果を取りまとめており、2020 年 1 月に採択課題を決定・公表する予定であるとのこと。

5. JpGU-AGU2020におけるユニオンセッション開催について

・木村委員から、資料 24-7-5 に基づいて、JpGU-AGU Joint Meeting 2020 における日本学術会議地球惑星科学委員会と日本地球惑星科学連合の共催によるユニオンセッション「地球惑星科学の進むべき道 10 ビッグデータとオープンサイエンス」(5 月 27 日(水)に開催予定)についての説明があった。

・藤井委員長から、基本的にすべて招待講演で構成する予定で、企画分科会で検討を進めるが、関係者の皆さんに協力をお願いする旨、呼びかけがあった。

6. その他

・田近委員から、日本学術会議「日本の展望」作成において、地球惑星科学分野からの情報提供を求められていることについて説明があった。内容は、大規模国際プロジェクトにおける日本の貢献、日本が中心となっている国際共同プロジェクトなどに関する情報で、その財源や社会貢献などの観点でどういう課題があり今後どうあるべきか、などに関する意見を今週中にインプットして欲しいというもの。外国人の受入や人材育成などについての事例でもよく、防災や Future Earth 等の関連があればその情報についても、要点をまとめて情報提供したい旨、アナウンスがあった。

・佐藤委員から、学術雑誌関係の現状について問題提起があり、学術会議での議論について質問があった。これに対し、田近委員から第三部の「理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会」で調査・議論がされており、提言を出す予定であるとの説明があった。また、藤井会員から内閣府でも議論があることが紹介された。

以上

配付資料

24-7-0 地球惑星科学委員会(第 24 期・第 7 回)・地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会(第 24 期・第 6 回)合同会議議事次第案

24-7-1 地球惑星科学委員会(第 24 期・第 6 回)・地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会(第 24 期・第 5 回)合同会議議事録(案)

24-7-2a 地球・惑星圏分科会提言 (田近)

24-7-2b 人間圏分科会 提言 (春山)

24-7-2c 人材育成分科会提言 (木村)

24-7-2d 国際連携分科会活動報告（中村尚）
24-7-2e IGU 分科会活動報告（小口）
24-7-2f IUGG 分科会活動報告（中田）
24-7-2g IUGS 分科会活動報告（西）
24-7-2h SCOR 分科会活動報告（山形）
24-7-2i 社会貢献分科会 活動報告（高橋）
24-7-2j FE・WCRP 合同分科会活動報告（中村尚）
24-7-3 提言：(地球惑星科学委員会)地球惑星科学分野夢ロードマップ 2020
24-7-4 地球惑星科学分野の大型研究計画
24-7-5 JpGU-AGU Meeting 2020 ユニオンセッション提案